

山口蓬春記念館 平成24年度 秋季展

伝統の

素材と形態からみる  
山口蓬春の作品とそのコレクション

美

のかたち



1.山口蓬春《扇面流し》昭和5年(1930) 紙本着色/二曲一隻屏風 [後期のみ]  
2.《五彩龍文筆皿》「大明萬曆年製」銘 中国・景德鎮窯 明時代・万暦年間(1573-1620) 磁器  
3.伝雪舟等楊《円窓 白菊芙蓉図》井上候爵家伝来 室町時代(15世紀) 紙本着色/軸 [前期のみ]  
4.後柏原天皇《宸翰 歳中立春》室町時代・永正6年(1509) 紙本墨書/軸 重要美術品



平成24年 8月14日[火]—10月21日[日]

前期:8月14日[火]—9月17日[月] 後期:9月19日[水]—10月21日[日]

※会期中、一部展示替えを行います。

山口蓬春記念館

開館時間:午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日:毎週月曜日(9月17日、10月8日を除く)、9月18日(火)、10月9日(火)  
入館料:一般/500円(高校生以下は無料)  
団体割引/50円割引(20名以上の団体で1週間前までに予約した場合)  
障害者割引/50円割引(同伴者1名を含む)  
連携館割引/50円割引 ※連携館:葉山しおさい公園・博物館(大人券のみ)、  
神奈川県立近代美術館 葉山(一般券・学生券のみ)  
年間入館券/1,500円(発行月から翌年の同月末日まで有効)

主催:山口蓬春記念館・公益財団法人JR東海生涯学習財団  
後援:神奈川県教育委員会、葉山町教育委員会



# 伝統の美のかたち

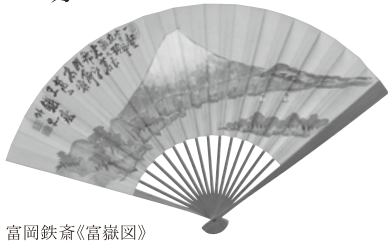
素材と形態からみる山口蓬春の作品とそのコレクション

今日、日本画と呼ばれる絵画の歴史は古く、千数百年前に中国大陸や朝鮮半島などを經由して日本にもたらされました。日本画で用いる主要な絵具は、岩絵具という天然の鉱石を粉末状に砕いた顔料に膠を混ぜたもので、その色彩の美しさは日本画の特色の一つにあげられます。現在でも東アジア諸国、シルクロードの要衝の地には、日本画の源流である絵画が伝存していますが、この絵画技法を今日まで継承しているのはわが国の日本画のみであり、世界的にみても貴重な絵画といえます。

また、絵画技法とともに表装の技術も伝来し、日本において独自の発展を遂げました。表装とは、書画を鑑賞や保存のために、掛軸、卷子、屏風、帖、額などに仕立てることをいい、一般には日本・東洋の伝統的な作品に対して行われます。

画家である山口蓬春は、風雅の道を楽しむ文人墨客ともいえました。文人が書画のみならずそれらを描く机辺の道具にもその思想を反映していたように、蓬春も自らの制作に関わる画材や道具についてこだわりをもって収集し、愛玩していました。また、若いころから表装について関心をもっていた蓬春は、自身の作品の表装にはその好みを投影し、またコレクションについては、表具との取り合わせの妙を楽しんでいたと考えられます。

本展では、当館所蔵の蓬春作品 および重要美術品2点を含む コレクションの数々を通じて蓬春の美意識を探るとともに、伝統的な絵画における画材や表装に着目し、「素材」と「形態」という新たなアプローチによって、その特質と魅力を再確認しようとするものです。



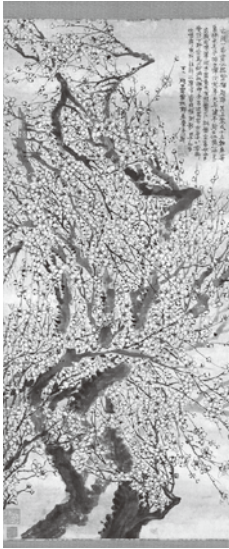
富岡鉄斎《富嶽図》  
大正4年(1915)頃 紙本着色/扇子



浦上玉堂《層巒喬木》  
中西耕石箱書  
江戸時代(18-19世紀)  
紙本墨画/軸 [後期のみ]



《青花透彫蓮花文筆筒》  
朝鮮半島・朝鮮時代(19世紀)  
磁器



伝金冬心《夜梅図》  
中国・清時代(18世紀)  
紙本墨画/軸 [後期のみ]



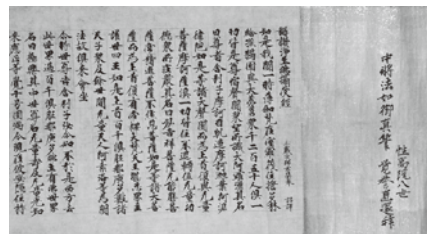
山口蓬春《薬師寺吉祥天女像 模写》  
制作年不詳  
紙本着色/軸 [後期のみ]



山口蓬春《新冬》  
昭和37年(1962) 紙本着色/額



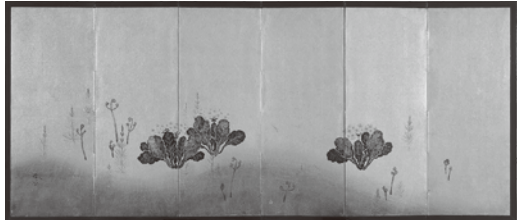
山口蓬春《静物(遼三彩鉢と果物)》  
昭和31年(1956) 紙本着色/額



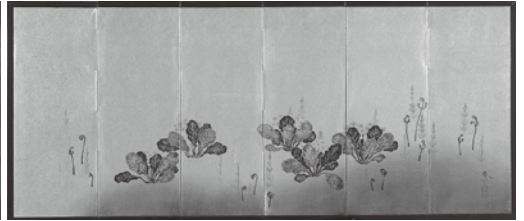
《稱讃浄土佛攝受經》(部分)  
江戸時代・天和3年(1683) 紙本墨書/卷子  
重要美術品



《双猫図》  
中国・明時代(14-17世紀)  
絹本着色/額



菱田春草《櫻草図屏風》 明治時代(19-20世紀) 金地着色/六曲一双屏風 [前期のみ]



\*展示作品は都合により一部変更することがあります。

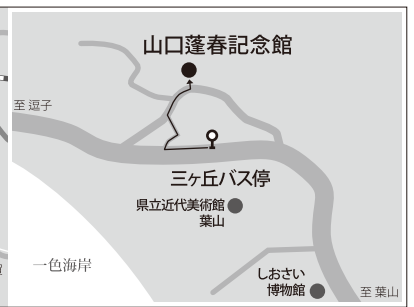
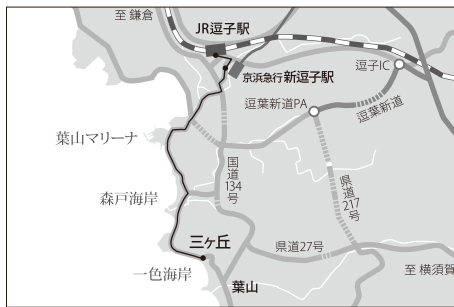
## 関連イベントのご案内

### 第42回葉山特別見学会

【内 容】葉山町にある美術館・博物館を学芸員の解説付きでご案内いたします。  
【日 時】平成24年9月27日(木) 9:30~14:30(途中、昼食休憩有り)  
【場 所】葉山しおさい博物館・山口蓬春記念館・神奈川県立近代美術館 葉山  
【参加費】無料  
【定 員】30名(応募者多数の場合は抽選)  
【締 切】平成24年9月13日(木) (必着)  
【申込方法】はがき又はFAXに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、電話番号を明記の上、当館「特別見学会」宛にお申込み下さい。

### 旧山口蓬春邸特別公開

【内 容】非公開の和室「桔梗の間」と吉田五十八が増築した「内女関」、「茶の間」を特別公開いたします。 ※入館料でご覧いただけます。  
【日 時】平成24年9月15日(土)~23日(日) 10:00~16:30



【交通案内】JR横須賀線・湘南新宿ライン「逗子駅」より京浜急行バス3番乗場 又は 京浜急行線「新逗子駅」南口2番乗場より「海岸回り葉山行(逗12)」か「海岸回り葉山福祉文化会館行(逗11)」にて約18分「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車 徒歩2分 ※専用駐車場はございません。車において頂く場合は、周辺の駐車場をご利用下さいようお願いいたします。